

談合の同キ席上前記五工場の内木村、森、
二工場及奥山工場、職工約五十名直ニ入会シ
俾母断ニ合会支部設置ヲ諮リタルニ木村、日、
出ニ工場職工約四十名、岩見而ニ之ニ應セズ本
部特派員及奥山工場、重ナル者極力勸説ノ
結果結算解除得タル如キ元何レ熟考ノ上固
然スルコトナリ何等具伴ノ成案ナリ解散セリ
而シテ同組合ニ加入シタル五十名ハ元大隈ノ組合
（本組合前身）ニ加入シ居リタル關係上支部設置
ニ賛成ニ自合ノ勢力ヲ張ラントシテ遂ニ部中
ナル元未ダ支部設置ノ事也ニ至ラス之レガ設置
ハ一ニ川、西村側ノ向荷ニ依リ決スルモノ、如何ナル
愈々設置速クシニハ多少ノ曲折ヲ免レサルヘレ（長年片）

大隈ニ部下散在ノ支店工場五ヶ所ニ職工
此職工數約千四百名ニシテ當テ賃銀他上要
求等ニ関シ労資同ノ紛争ヲ醸成スル一材
カラカリシカニ若年十月該職工ノ大部分カ此テ
大隈支店職工組合ヲ組織シテ以後一層紛争
頻然トシ、此等ノ内此際一前所三回三回
リ同盟罷業ヲ敢テ最上ノ罷業本年八月
賃銀他上率ニ反對シ組合員九百八十名罷業
ハ偶ニ斯堂界同散ナリニ關係上等並主ノ
態度強硬ニシテ職工側ノ失敗ニシテ之カ爲
組合ノ信望ヲ失フト共ニ脱退者續出ニ壞崩
ノ已レナキニ至レリ新幹部員ハ之カ善後策トシ
テ組合組織ニ大改革ヲ加ヘ大日本業協友禱